

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、7月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「ライフログ」については、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■研究者、携帯（アプリケーション）メーカー、携帯事業者の立場からの記事がまとまっていて、大変興味深く読みました。携帯事業者が何とかして端末を売り、回線を使用させようとしているのに対して、研究者（「ライフログの実践的活用：食事ログからの展望」）やメーカー（「ライフログ経験：センサが人生を変える」）の方の記事は実に具体的で発想が面白いと思いました。また、若干内容が異なる感じがありましたが、「虚血性心疾患に対するライフログの可能性」は迫力がありました。（匿名希望）

■個人の毎日の生活のログを画像で収集するというのは、ストレージの量的な拡大から、情報処理の質的な変化をもたらしているように感じました。そうやって収集したデータをどのように使用するのか、あるいは保管して将来の使用に備えるのか、その方針、考え方の発展に興味深く思えます。（巫 召鴻）

■ライフログは自分たちの行動や生活に密着した情報処理であり、実に興味深い。ただ、この情報やそのサービスには、まだまださまざまな未知数や危険性も含んでいる。人間や環境にとって、正しく、安全に、そして便利に使うにはどうすればよいのか。その研究の状況がよく分かり参考になった。今後の進展に期待したい。（匿名希望）

■「自分のあらゆる行動を電子化する」というテーマは個人的に非常に興味をそられるのですが、その先に何があるのか、本当に実用的なものになるのが漠然としている印象がありました。今回の特集を読んで、現在はまだデータ活用の先の可能性を探っている段階であるという印象を受けました。（長瀧寛之）

■ライフログというのはよく知りませんでしたが、今回の特集で基礎から現状と課題が分かりやすく掲載されていて参考になりました。今後、プライバシーの配慮も重要ですが生活習慣病とライフログの融合や個人の活動から適切なサービスが提供されることが一般化されるのを期待しています。（匿名希望）

■ライフログはユーザの行動を記録することにより、携帯端

末との新しい情報活用の展開に結びつく興味あるテーマと感じました。今後の進展が期待されますので再度特集をお願いします。（佐埜好英）

■ライフログはとても意味がある研究テーマだと思った。今後、GPS 携帯などとも連携をしてさらに自動化できるとよいのではないかと。（祖父江真一）

■「ライフログ経験：センサが人生を変える」は、大変参考になりました。以前、時間心理学という分野で、時計の発明が時間をどのような道具としたか、についてかかれていたことを思い出します。同じ時間を題材にして、可視化の方法が変わることで知覚できる時間がこんなに変わるのかという驚きです。会社では無理かもしれませんがパーソナルユースしてみたいと思いました。また、体験談も印象的でした。（匿名希望）

■「ライフログ経験：センサが人生を変える」は内容に説得力があり面白く読めた。しかし、行動などのセンサからの6次元程度の特徴量で、本当に行動や心理を説明できるのかに関しては、データでの説明がないこともあり納得できなかった。（阪本俊幸）

小特集「『あの時代』に想いをさせて—証言者達からのメッセージ—」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■石田先生に関する記事は、一抹の寂しさや郷愁を感じつつ読ませていただいた。会社に入って最初に自分で購入した本が石田先生のものであり、ずいぶんお世話になった。心からお悔やみを申し上げたい。（匿名希望）

■故石田晴久先生のパソコンやインターネットの分野における多大な功績に対し、改めてその偉大さに感服する思いでした。この特集では触れられていませんでしたが、先生は、晩年、NPO 法人青少年科学技術振興会の代表者として、子供たちの科学技術教育にも尽力されていました。FIRST LEGO League (FLL)（本誌記事「小中学生を対象としたロボット競技会と総合理科教育」(Vol.48, No.5, pp.502-511) で紹介）を5年ほど前に日本に紹介し、定着されたのは先生でした。2008年4月に東京で開催された世界大会（本誌記事「小中学生対象のロボット競技世界大会レポート～FLL Open Asian Championship 2008～」(Vol.49, No.7, pp.818-823) で紹介）では、実行委員長を務められました。セレモニーでの先生のお姿は、サイトの動画（<http://cliplife.goo.ne.jp/play/clip/OeElr-Jst1ty>）の中で見るることができます。ご冥福をお祈りいたします。（山下博之）

■石田晴久先生についてのお話の数々がとても興味深かったです。私自身は石田先生とは面識がなく、数々の書籍でお世話になりました。今回、先生の人柄に接することができたことにとっても感謝しています。（高野光弘）

■石田先生が書かれた UNIX, C, インターネットに関する本は、一生懸命読んで勉強し、私の今の仕事の原点になりました。ご講演も、最新の話をつなぎ交えて分かりやすくご説明されるので、いつも得した気分になっていたことを覚えています。さらに、石田先生が編集長をされたとき、「情報処理」が一変し、石田先生は何をされてもすごい、と驚いていました。本当に大変お世話になり、ありがとうございました。
(匿名希望)

報告「平成 20 年度論文賞の受賞論文紹介」「平成 20 年度長尾真記念特別賞紹介」「平成 20 年度喜安記念業績賞紹介」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■論文内容について、簡単に説明してある記事もあったが、ほとんど論文内容の説明がない記事もあり、何を議論しているか分からないものもあったため、別途に論文概要を付してほしいと感じた。
(阪本俊幸)

■論文賞の受賞者のエッセイは、研究の大変だった点をお書きになっている方のものは大変共感できました。こういう場では、忌憚ない作文が求められていると思います。中には研究の背景を重ねて述べているものもあり、それは論文中でやることで、私を含め多くの読者の期待には応えられていないのではないかと思います。
(匿名希望)

■受賞論文の紹介は、我々がどのように研究すべきかを知るのに役立ちます。
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■我が国の医療用のソフトウェア開発とその安全や倫理面について JIS(ISO) の動向の特集をお願いしたいと思います。
(古瀬慶博)

■ライフログとプライバシー問題の詳しい話もぜひ読んでみたいと思いました。
(長瀧寛之)

■公的な個人認証サービスの動向を紹介してほしいと思います。
(匿名希望)

■特集の「ライフログ」に関連して、AR (Augmented Reality) についての研究などを取り上げていただくと楽しく読めるのではないかと感じました。特に生活に密着した情報を表示する AR などにはライフログの研究が大きく役立つと感じています。
(高野光弘)

■データベースに関する議論、特に列指向のデータベースについて。
(池田直哉)

■企業がグローバル化し知財を活用する傾向がある中で、条約、国内法は技術の発展に伴い産業発達のために毎年改正されているので、情報処理分野に関する法制度(著作権、特許等)の今後の動向・判例を読みたい。
(匿名希望)

【本欄担当 林 雄介, 中村大賀/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPJSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2009年	論文誌コンピューティングシステム (ACS) 第30号への論文投稿 http://www.hpcc.jp/acs/	9月25日 (金)		
	会誌「情報処理」51巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/07editj/topic/design-boshu51.html	11月2日 (月)		
	論文誌「情報教育～理論・評価・発展～」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/10-D.html	11月25日 (水)		
	論文誌「人と組織の社会貢献を支えるコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/10-E.html	11月30日 (月)		
	論文誌「未来志向のソフトウェア工学」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/10-H.html	1月6日 (水)		
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/10-F.html	1月25日 (月)		
10月15日 (木)～	第141回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/SLDM141.html	8月11日 (火)	当日のみ	福井県芦原温泉
10月16日 (金)	平成21年度電気・情報関連学会中国支部第60回連合大会 http://rentai.info.hiroshima-cu.ac.jp/	8月7日 (金)		広島市立大学
10月20日 (火)	情報アクセスシンポジウム2009 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/fi/cfp/IAS2009/		当日可	北海道大学 (札幌)
10月20日 (火)	北陸支部主催講演会「生体情報のセンシング技術とその応用」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		参加無料、会員以外の方も参加可能	富山県立大学
10月21日 (水)～	組込みシステムシンポジウム (ESS2009) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/S-ESS2009.html	6月18日 (木)	10月9日 (金)	国立オリンピック記念青少年総合センター
10月23日 (金)	第78回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/SLP78.html		当日のみ	早稲田大学理工学部
10月24日 (土)	第84回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CH84.html	8月24日 (月)	当日のみ	国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市)
10月26日 (月)	第177回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/ARC177.html	9月4日 (金)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
10月26日 (月)～	コンピュータセキュリティシンポジウム2009 (CSS2009) http://www.iwsec.org/css/2009/	8月14日 (金)	10月13日 (火) 2009年9月11日参加 早期割引受付締切	富山国際会議場
10月28日 (水)～	第76回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/PRO76.html	8月28日 (金)	当日のみ	石垣市商工会館
10月29日 (木)	第137回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CG137.html	8月21日 (金)	当日のみ	首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス
10月28日 (水)～	IWSEC2009 International Workshop on Security http://www.iwsec.org/2009/			富山国際会議場
10月30日 (金)	東海支部講演会「自動車MBD (Model-Based Development) における制御設計」 http://www.ipsj-tokai.jp/		参加無料	東桜会館1階集会室 (名古屋市)
10月30日 (金)	第82回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/MUS82.html	9月18日 (金)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス
11月2日 (月)～	第137回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CG137.html	8月21日 (金)	当日のみ	首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス
11月3日 (火)	第51回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・第39回高度交通システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/MBL51ITS39.html	8月31日 (月)	当日のみ	名城大学 天白キャンパス
11月5日 (木)～	第166回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/SE166.html	9月14日 (月)	当日のみ	名古屋大学 東山キャンパス
11月5日 (木)～	第51回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・第39回高度交通システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/MBL51ITS39.html	8月31日 (月)	当日のみ	名城大学 天白キャンパス
11月6日 (金)	連続セミナー 2009「進化する組込みシステム技術」第5回 組込みシステムの高信頼性-V&V http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2009/		定員になり次第	東京電機大学神田キャンパス7号館1F 丹羽ホール
11月6日 (金)	第24回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/UBI24.html	9月11日 (金)	当日のみ	お茶の水女子大学
11月11日 (水)	第135回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.sighci.jp/2009/11/200911122208.html	9月11日 (金)	当日のみ	お茶の水女子大学
11月12日 (木)～	第14回 ゲームプログラミングワークショップ2009 (GPW-09) http://sig-gi.tanaka.ecc.u-tokyo.ac.jp/	7月27日 (月)	定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月12日 (木)	第30回 システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/EVA30.html	9月14日 (月)	当日のみ	大阪大学大学院 情報科学研究科
11月13日 (金)	第194回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/NL194.html	10月2日 (金)	当日のみ	愛媛大学 総合情報メディアセンター
11月13日 (金)	第96回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/FI96.html	9月18日 (金)	当日のみ	筑波大学東京キャンパス (秋葉原地区)
11月15日 (日)	東海支部主催講演会「環境電磁波解析における信号処理とゆらぎ」 http://www.ipsj-tokai.jp/		無料、会員以外の方も参加可能	名古屋工業大学 (名古屋市昭和区)
11月16日 (月)	WebDBフォーラム2009 http://db-event.jp.org/webdbf2009/	9月1日 (火)		慶應義塾大学 日吉キャンパス
11月16日 (月)～	第194回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/NL194.html	10月2日 (金)	当日のみ	愛媛大学 総合情報メディアセンター
11月17日 (火)	第96回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/FI96.html	9月18日 (金)	当日のみ	筑波大学東京キャンパス (秋葉原地区)
11月19日 (木)	東海支部主催講演会「環境電磁波解析における信号処理とゆらぎ」 http://www.ipsj-tokai.jp/		無料、会員以外の方も参加可能	名古屋工業大学 (名古屋市昭和区)
11月19日 (木)～	WebDBフォーラム2009 http://db-event.jp.org/webdbf2009/	9月1日 (火)		慶應義塾大学 日吉キャンパス
11月20日 (金)	コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys 2009)	7月17日 (金)		筑波大学
11月26日 (木)～	コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys 2009) http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2009	7月17日 (金)		筑波大学
11月27日 (金)				

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
11月26日(木)～ 11月27日(金)	第141回マルチメディア通信と分散処理・ 第73回グループウェアとネットワークサービス・第46回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/DPS141GN73EIP46.html	9月25日(金)	当日のみ	呉市海事歴史科学館 (広島)
11月27日(金)	第127回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/AL127.html	9月28日(月)	当日のみ	名古屋大学ベンチャー・ ビジネス・ラボラトリー
11月30日(月)～ 12月1日(火)	第178回計算機アーキテクチャ・ 第123回ハイパフォーマンスコンピューティング合同研究発表会(HOKKE-17) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/ARC178HPC123.html	9月18日(金)	当日のみ	北海道大学学術交流 会館
12月1日(火)	第110回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/IS110.html	10月6日(火)	当日のみ	産業技術大学秋葉原 サテライトキャンパス
12月2日(水)～ 12月4日(金)	第142回システムLSI設計技術研究発表会(デザインガイア2009) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/SLDM142.html	9月10日(木)	当日のみ	高知市文化プラザ
12月4日(金)	連続セミナー 2009「進化する組込みシステム技術」 第6回 Advanced Technique http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2009/index.html		定員になり次第	東京電機大学神田キャンパス7号館1F 丹羽ホール
12月5日(土)～ 12月6日(日)	第83回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/MUS83.html	10月5日(月)	当日のみ	国立音楽大学
12月7日(月)～ 12月8日(火)	第67回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/AVM67.html	10月16日(金)	当日のみ	名古屋大学 東山キャンパス
12月9日(水)	東海支部主催講演会「データの価値を創出するデータマネージメント技術」 http://www.ipsj-tokai.jp/		無料、会員以外の方も参加可能	東桜会館1階第2会議室(名古屋市東区)
12月11日(金)～ 12月12日(土)	第102回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CE102.html	10月23日(金)	当日のみ	広島大学 (広島県東広島市)
12月17日(木)～ 12月18日(金)	ネットワーク生態学研究グループ 第6回シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/8th_webology/index.html	9月30日(水)	定員になり次第	(独)産業技術総合研究所つくばセンター中央第1
12月18日(金)	第47回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CSEC47.html	10月18日(日)	当日のみ	東京理科大学 森戸記念会館
12月18日(金)～ 12月19日(土)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2009」 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/S-CH2009.html	9月24日(木)	当日可	立命館大学びわこ・くさつキャンパス
2010年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(日)		
1月12日(火)～ 1月14日(木)	第51回プログラミング・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/prosym/			箱根ホテル小涌園
1月14日(木)～ 1月15日(金)	2010年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム(HPCS2010) http://www.hpcc.jp/hpcs/	9月25日(金)		工学院大学 アーバンテックホール
2月1日(月)～ 2月3日(水)	14th Conference on Optical Network Design and Modeling, 2010 (ONDM2010) http://www.ida.ing.tu-bs.de/ondm2009/	9月11日(金)		京都工芸繊維大学
2月11日(木)～ 2月12日(金)	第138回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CG138.html			ホテル安比グラウンド(岩手県八幡平市安比高原)
3月6日(土)～ 3月7日(日)	第103回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2009/CE103.html	1月15日(金)	当日のみ	筑波大学 (東京都文京区)
3月9日(火)～ 3月11日(木)	情報処理学会創立50周年記念(第72回)全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/72kai/	11月27日(金)		東京大学 本郷キャンパス
4月26日(月)～ 4月28日(水)	ICMU2010 The 5th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking http://www.icmu.org/icmu2010/	9月18日(金)		アメリカ シアトル
7月19日(月)～ 7月23日(金)	SAINT2010 The 10th Annual International Symposium on Applications and the Internet http://www.saintconference.org/	1月31日(日)		韓国 ソウル
9月7日(火)～ 9月9日(木)	FIT2010 第9回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/index.html			九州大学 伊都キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

■ 9月7日 Web 教材制作の公募のお知らせ

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）

賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）

賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻情報工学講座（助教）

募集人員 助教 1名
 専門分野 情報工学およびその関連分野（特に、ニューラルネットワーク、パターン認識、生体信号処理等）
 担当科目 情報工学およびその関連分野（特に、ニューラルネットワーク、パターン認識、生体信号処理等）についての学部学生向け講義、実習、実験等
 応募資格 教育と研究に熱意と能力があり、博士あるいはPh.Dの学位を有する方（着任時までに取得見込みの方を含む）
 着任時期 平成22年4月1日
 提出書類 履歴書^{*}、研究業績^{*}、教育業績^{*}、その他の業績^{*}、今後の活動の抱負^{*}、主要な研究業績の別刷（3編以内）、応募者について所見を求め得る方3名以内の氏名・役職・連絡先（うち1名の方の推薦書） *上記提出書類※印については、愛媛大学工学部Webページ（<http://www.eng.ehime-u.ac.jp/>）に掲載してある[教員公募：応募書類]の様式に従い作成してください。また、郵送とは別に電子ファイル（Word）を下記E-mailアドレスへ提出してください
 応募締切 平成21年10月31日（必着）
 送付先/照会先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻 情報工学コース長 伊藤 宏
 E-mail:ito@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9961 Fax(089)927-8576
 「教員（助教）応募書類在中」と朱書き簡易書留 *なお、提出書類は返却いたしません
 その他 【任期】5年（再任可 ただし、1回を原則とし、任期は3年）この間に所定の審査を経て、任期を付与しない教員として任用される制度があります
 【面接審査】一次審査（書類選考）通過者に対して平成21年12月中に実施予定。なお、面接の際の旅費などの支給はありません
 詳細はWebページ（<http://www.ehime-u.ac.jp/information/employment/teacher.html>）をご覧ください

■愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻情報工学講座（准教授）

募集人員 准教授 1名
 専門分野 情報工学およびその関連分野（特に、人工知能、知識情報処理、セマンティックWeb等）
 担当科目 情報工学およびその関連分野（特に、人工知能、知識情報処理、セマンティックWeb等）についての学部学生・大学院学生向け講義、実習、実験等
 応募資格 教育と研究に熱意と能力があり、博士あるいはPh.Dの学位を有する方。博士後期課程担当研究指導補助教員資格（D合）以上の教育・研究実績を有する方（採用選考時に資格審査を行います）
 着任時期 平成22年4月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書^{*}、研究業績^{*}、教育業績^{*}、その他の業績^{*}、今後の活動の抱負^{*}、主要な研究業績の別刷（3編以内）、応募者について所見を求め得る方3名以内の氏名・役職・連絡先（うち1名の方の推薦書） *上記提出書類※印については、愛媛大学工学部Webページ（<http://www.eng.ehime-u.ac.jp/>）に掲載してある[教員公募：応募書類]の様式に従い作成してください。また、郵送とは別に電子ファイル（Word）を下記E-mailアドレスへ提出してください
 応募締切 平成21年10月31日（必着）
 送付先/照会先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻 情報工学コース長 伊藤 宏
 E-mail:ito@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9961 Fax(089)927-8576
 「教員（准教授）応募書類在中」と朱書き簡易書留 *なお、提出書類は返却いたしません
 その他 【面接審査】一次審査（書類選考）通過者に対して平成21年12月中に実施予定。なお、面接の際の旅費などの支給はありません
 詳細はWebページ（<http://www.ehime-u.ac.jp/information/employment/teacher.html>）をご覧ください

■愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻情報工学講座（教授）

募集人員 教授 1名
専門分野 情報工学およびその関連分野（特に、論理設計、論理回路、計算機工学、電子回路等）
担当科目 情報工学およびその関連分野（特に、論理設計、論理回路、計算機工学、電子回路等）についての学部学生・大学院学生向け講義、実習、実験等
応募資格 教育と研究に熱意と能力があり、博士あるいはPh.Dの学位を有する方。博士後期課程担当研究指導教員資格（Dマル合）以上の教育・研究実績を有する方（採用選考時に資格審査を行います）
着任時期 平成22年4月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類 履歴書^{*}、研究業績^{*}、教育業績^{*}、その他の業績^{*}、今後の活動の抱負^{*}、主要な研究業績の別刷（3編以内）、応募者について所見を求め得る方3名以内の氏名・役職・連絡先（うち1名の方の推薦書）^{*} 上記提出書類※印については、愛媛大学工学部Webページ（<http://www.eng.ehime-u.ac.jp/>）に掲載してある[教員公募：応募書類]の様式に従い作成してください。また、郵送とは別に電子ファイル（Word）を下記E-mailアドレスへ提出してください
応募締切 平成21年10月31日（必着）
送付先／紹介先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻 情報工学コース長 伊藤 宏
E-mail:ito@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9961 Fax(089)927-8576
「教員（教授）応募書類在中」と朱書し簡易書留 ^{*}なお、提出書類は返却いたしません
その他 【面接審査】一次審査（書類選考）通過者に対して平成21年12月中に実施予定。なお、面接の際の旅費などの支給はありません
詳細はWebページ（<http://www.ehime-u.ac.jp/information/employment/teacher.html>）をご覧ください

■豊橋技術科学大学「異分野融合領域研究プログラム」

募集人員 特任教員 10名（主に「テニュア・トラック特任助教」、場合により特任准教授）
研究分野 本プログラムでは、エレクトロニクス基盤技術となるインテリジェントセンシングチップ技術（材料開発、センサ/MEMS/LSI設計・作製・評価）、フォトリソグラフィ情報デバイス技術と、先端的应用分野（ライフサイエンス、医療、農業科学、環境、情報通信、ロボティクスなど）との異分野融合研究を推進することとしています。このように、エレクトロニクス基盤技術と先端的应用分野のいずれかを専門としながら、異分野を取り入れ研究を進展させていくことのできる研究者を募集いたします
応募資格 採用時に博士の学位（Ph.Dを含む）を有していること。上記の研究分野において、独創的な研究テーマを有し、将来において優れた研究成果が期待できること。上記の研究分野に関連した研究業績を有すること
採用時期（予定） 平成22年1月1日以降の早い時期
提出書類 詳細はWebページ（<http://www.tut.ac.jp/wakate/index.html>）をご覧ください
応募締切 平成21年11月6日（必着）
送付先／照会先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学若手研究者育成プログラム支援室 尾崎行春
E-mail:wakate-sien@office.tut.ac.jp Tel(0532)81-5117
その他 詳細はWebページ（<http://www.tut.ac.jp/wakate/index.html>）をご覧ください

■千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻（知能情報コース）

募集人員 教授 1名
専門分野 画像情報工学（画像理解、コンピュータショナル・フォトグラフィ、イメージセンシング、動画像解析など）
担当科目 画像解析システム論（工学部情報画像学科）、画像情報計測特論（大学院）など
応募資格 博士号取得者で、上記分野の教育研究に熱意のある方
着任時期 原則として平成22年4月1日
提出書類 履歴書、著書・学術論文（レフェリー付き原著論文、総説に区別）およびその他（レフェリーなし原著論文、国際学会発表など）のリスト（このリストには論文名・全著者名・雑誌名・巻・最初と最後のページ・発表年（西暦）について記載されていること）、主要論文別刷（5編以内、コピー可）、これまでの教育研究概要と採用された場合の教育および研究の抱負について全体で2000字程度にまとめたもの、推薦者お1人からの署名入り推薦状または応募者について意見を聞くことができる方1名以上の氏名と連絡先
応募締切 平成21年11月15日（必着）
送付先／照会先 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学大学院融合科学研究科 矢口博久
E-mail:yaguchi@faculty.chiba-u.jp Tel/Fax(043)290-3472 「教員公募」と朱書し簡易書留
^{*}応募書類は原則として返却いたしません

■神奈川工科大学情報学部情報工学科

募集人員 教授または准教授 1名
専門分野 ソフトウェア工学(システム開発・運用技術, ソフトウェア設計技術など)
担当科目(予定) ソフトウェア工学, オペレーティングシステム, ソフトウェア基礎論など
応募資格 情報技術教育に熱意がある方。博士号取得済または取得見込みであることが望ましい
着任時期 平成22年4月1日
提出書類 履歴書*・教育研究業績リスト, 主要論文別刷(コピー可), 教育および研究に対する抱負1000字程度, 推薦書または所見を求め得る方の氏名と連絡先 ※は所定書式がありますので, 下記照会先へご連絡ください
応募締切 平成21年11月20日(必着)
送付先 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学 庶務担当部長気付 情報工学科教員選考委員長
封筒の表に「情報工学科教員応募」と朱書き書留 *提出書類は原則として返却いたしません
照会先 情報工学科教員選考委員長 山本富士男 E-mail:yamamoto@ic.kanagawa-it.ac.jp Tel(046)291-3181

■群馬工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員 助教 1名
専門分野 情報工学
担当科目 ソフトウェア工学, コンパイラ, プログラム言語などの情報関係科目ならびに工学実験
応募資格 博士の学位を有し, 教育・研究, および学生の指導に熱意を持ってあたられる方, 科研費等外部研究資金獲得に意欲のある方, 地域の産学官との共同研究や出前授業など地域貢献に熱意のある方
着任時期 平成22年4月1日
提出書類 履歴書(市販の書式), 研究業績一覧(レフェリー付き論文・国際会議発表・著書・その他に分類のこ), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), これまでの研究概要(A4用紙1000字程度), 着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙2000字程度), 推薦書1通
応募締切 平成21年11月27日(必着)
送付先 〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580 群馬工業高等専門学校総務課人事・労務係
「電子情報工学科 教員応募書類」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません
照会先 電子情報工学科長 鶴見 智 E-mail:tsurumi@ice.gunma-ct.ac.jp Tel(027)254-9282 (ダイヤルイン)
その他 Webページ(<http://www.gunma-ct.ac.jp/Shomu/koubo/kouboH21-221.pdf>)

■金沢大学理工研究域電子情報学系

募集人員 助教 1名(任期なし)
専門分野 音声音響情報処理(音声合成・認識, オーディオ信号処理など)
担当科目 学類:電子情報関連の学生実験等指導, および基礎科目(電気・電子回路, 情報工学など)の講義
大学院:当該専門分野の専門科目
応募資格 着任時に博士の学位を有し, 前任教員(専門分野:音声音響情報処理)と共同で上記専門分野にかかわる学生指導に取り組める方
着任時期 平成22年4月1日
提出書類 履歴書, 金沢大学教員公募用書類, 主要論文別刷, 推薦書1通
応募締切 平成21年11月30日(当日消印有効)
送付先 〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学理工研究域電子情報学系 系長 森本章治
「電子情報学系(音声音響)教員応募書類在中」と朱書き書留
照会先 理工研究域電子情報学系 教授 三好正人 E-mail:mmiyoshi@t.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-4909 Fax(076)234-4900
その他 詳細はWebページ(<http://www.ec.t.kanazawa-u.ac.jp/recruit/>)をご覧ください

■神奈川工科大学情報学部情報メディア学科

募集人員	教授または准教授 1名 (いずれも任期制ではありません)
専門分野	メディアコンテンツ
担当科目	情報メディア基礎演習, 情報メディア演習, CGアニメーション, デザイン工学等
応募資格	メディアアート関連の作品制作の実績があり, 情報メディア教育に熱意がある方. 博士号取得者または取得見込みであることが望ましい
着任時期	平成22年4月1日以降, またはそれ以降のできるだけ早い時期
提出書類	履歴書*・教育研究作品業績リスト, その他特記事項 (学会活動, 社会活動, 経験業務内容など), 主な作品または論文別刷 (主要5編以内, 作品は作品紹介でも可), 教育および研究に対する抱負を各1000字程度, 推薦書 (または所見を求め得る方1名以上の氏名と連絡先) ※については書式自由ですが, 採用の場合には所定書式のものを用意していただきます. また, 面接時には健康診断書を用意していただきます
応募締切	平成21年11月31日 (必着)
送付先	〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学庶務担当部長気付 情報メディア学科教員選考委員長 封筒の表に「情報メディア学科教員応募」と朱書き書留 *提出書類は原則として返却いたしません
照会先	情報メディア学科 教授 佐藤 尚 E-mail:sato@ic.kanagawa-it.ac.jp Tel(046)291-3247

■名古屋大学工学研究科機械理工学専攻電子機械工学分野

募集人員	助教 1名
専門分野	次世代の機器設計に必要なシミュレーションや実験と解析の融合技術の開発に取り組める方. キーワードとして, 最適化, CAE, 逆問題, 大規模高速解析, データ同化, FEM, BEM, MDなど
担当科目	機械・航空工学科実験, 演習 (計算機ソフトウェア, 数学)など
応募資格	博士の学位を有する方, または取得見込みの方. 年齢35歳以下の方が望ましい. 専門分野で優れた研究業績を持ち, 上記あるいはそれらに関連する分野の研究と教育に熱意のある方
着任時期	平成22年4月1日以降のなるべく早い時期
提出書類	履歴書 (連絡先とE-mailを明記), 研究業績リスト (学術誌, 国際会議, その他, に区分), 主要論文別刷 (5編以内, コピー可), これまでの研究の要約 (A4用紙2枚程度, 形式自由), 着任後の教育研究についての抱負 (A4用紙2枚程度, 形式自由), 競争的資金の獲得状況, 推薦書あるいは応募者についての意見を伺える方の氏名と連絡先 (2名程度)
応募締切	平成21年12月21日 (必着)
送付先	〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学研究科機械理工学専攻電子機械工学分野 主任 宇野洋二 E-mail:uno@nuem.nagoya-u.ac.jp Tel/Fax(052)789-2739 「応募書類在中」と朱書き簡易書留 *提出書類は返却いたしません
照会先	工学研究科機械理工学専攻電子機械工学分野 教授 松本敏郎 E-mail:t.matsumoto@nuem.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-2780 Fax(052)789-3123
その他	名古屋大学は業績 (研究業績, 教育業績, 社会的貢献, 人物を含む) の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します

■静岡理科大学理工学部電気電子工学科

募集人員	准教授, 講師または助教のいずれか 1名
専門分野	情報・通信・メディア工学分野
応募資格	関連する分野の博士の学位 (またはPh.D.)を有する方, またはこれに準ずる方. 情報メディア, モバイルマルチメディア, メディアネットワーク等多彩なマルチメディアを理解し, ユビキタス社会に貢献できる方. 通信信号または情報処理信号を直接扱える方. マルチメディア工学など専門科目と電気回路など電気系基礎科目に関する実験・演習を担当し, セミナー, 卒業研究指導ができ, 教育, 研究および学科の運営に熱意を持って当たれる方. 本学の「やらまいか精神」に基づき, 学生と一緒に物作りを行える方. 企業あるいは研究機関での実務経験のある方. 本学の理念に賛同し, 私立大学での教育・研究・社会貢献に理解がある方. 大学院修士課程の教育および研究指導ができる方
着任時期	平成22年4月1日 遅くとも平成22年9月1日
提出書類	履歴書, 研究業績リスト (企業の技報等に掲載された論文や特許なども含む, リストは著書, 有査読学協会原著論文, 国際学会口頭発表, 国内学会口頭発表, 特許, その他に分類してください), 教育実績, 主要論文別刷 (5編以内, コピー可), 着任後の教育・研究に対する抱負 (A4用紙2枚程度), 応募者本人に関する所見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先 (住所・電話番号・E-mailアドレスなど)および応募者との関係などの情報 *書類はすべてA4用紙を使用してください
応募締切	平成22年1月8日
送付先	〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 静岡理科大学 事務局総務課 Tel(0538)45-0111 (代表) Fax(0538)45-0110 「電気電子工学科教員 (情報・通信・メディア工学分野) 応募書類在中」と朱書き書留
照会先	電気電子工学科学科長 教授 郡 武治 E-mail:kohri@ee.sist.ac.jp Tel/Fax(0538)45-0146 (直通)
その他	【待遇】本学の規程による Webページ (http://www.sist.ac.jp/)

The 10th Annual Symposium on Applications & the Internet SAINT2010

Seoul, KOREA, July 19-23, 2010

Co-located with:

The 34th Annual IEEE International Computer Software and Applications Conference (COMPSAC2010)

Co-sponsored by:

**the IEEE Computer Society (IEEE-CS) and
the Information Processing Society of Japan (IPSSJ)**

Technically sponsored by IEEE-CS IT Professional



<http://www.saintconference.org/>



THEME : The Inclusive Internet

The Internet has revolutionized and changed the way we communicate, socialize, entertain, access information and conduct business. It has evolved into a pervasive ecosystem of connected computers, mobile devices, sensors, home appliances, and a variety of other gadgets. This evolution has led to a deep intertwining of the physical, social and digital worlds, raising new research agendas and challenging our understanding of the requirements for a vastly interconnected world. The advent of Web 2.0, social networks, open API's, mash-ups and cloud computing are empowering Internet users into becoming Internet "makers." Anyone and everyone is included, free to contribute content and even services. The frontier of the Internet no longer stops at the shores of large corporations, small businesses, and online stores. It has expanded to include the presence and contributions of virtually all mankind. The symposium provides a forum for researchers and practitioners from the academic, industrial, public and governmental sectors to share their latest innovations on Internet technologies and applications. Areas of particular interest include, but are not limited to:

Internet Application Areas:

- **Content Management:** semi-structured data, information integration, search and retrieval, data mining, semantic web, mobile and local search.
- **Content Delivery:** media streaming, web caching, QoS, universal access and interfacing.
- **Web Services:** architecture & middleware, information agents, brokering and negotiation, service discovery, service composition, mash-ups, context-aware services.
- **Collaboration:** fixed, mobile & ad-hoc groupware, social network software, trust & IPR technologies.
- **Internet communities:** peer-to-peer platforms and applications, folksonomies, protocols for self-organizing communities, social networks.
- **Ubiquitous and Pervasive Computing:** smart space architecture and middleware, sensor networks and sensor web, pervasive programming models and tools, content adaptation, location-based services, mobile transactions, personalization, mobile service discovery & delivery.
- **E-Business:** Internet-based workflow, virtual enterprises, B2B, auctioning systems.
- **Other Social Applications:** E-science, E-education, E-learning, E-entertainment, E-health, E-government, E-inclusion, etc.

Enabling technologies for the Internet:

- **Software Architectures:** service-oriented architectures, peer-to-peer and overlay networks, mobile agents, very large scale server systems, GRID computing, virtualization, cloud computing.
- **Standards:** including XML, WSDL, WSFL, ebXML, Java, JXTA, .NET, EchoNet, SODA, etc.
- **Internet Security:** architecture, threats, detection, authentication/authorization, countermeasures, trust models, privacy, others.
- **Network and Protocol Architectures:** routing, performance, ad-hoc, sensor and mobile networks, broadband wireless access, IPv6.
- **Information Appliances:** smart phones, PDAs, mobile Internet device, sensor platforms, RFID based and embedded computers.

IMPORTANT DATES

Symposium Paper Submission: **January 31, 2010**
Symposium Author Notification: **March 31, 2010**
Symposium Final Manuscript: **April 30, 2010**
Workshop Proposals: **November 15, 2009**
Workshop Call for Papers: **December 15, 2009**
Workshop Paper Submission: **February 28, 2010**
Workshop Author Notification: **March 31, 2010**
Workshop Final Manuscript: **April 30, 2010**
Student Paper Submission: **April 8, 2010**
Student Author Notification: **April 22, 2010**
Student Final Manuscript: **April 30, 2010**
Authors Registration Due: **April 30, 2010**
Panel Proposals: **December 15, 2009**

Workshops and Panels Proposals

Full- and/or half-day workshop and panel proposals related to SAINT theme are solicited. Workshop proposals should be submitted to Workshops Chairs. After the review of proposals, the accepted Workshop Call For Papers must be sent to the Workshop Chairs. Workshops Call For Papers will be announced on the SAINT web page. Panel proposals should be submitted to Panel Chairs. E-mail addresses for submission will be announced later at the SAINT Web page.

Paper Submission, Reviews and Publications

Symposium paper submission will be done electronically. Information for prospective authors, including paper format and instructions can be found on the SAINT Web page. Symposium Papers will be reviewed by at least three reviewers, and SAINT has been keeping its acceptance ratio less than 30% from the beginning.

Workshop papers will be sent to each Workshop's Organizers and should be reviewed by each Workshop's Program Committee, taking account of a reasonable acceptance ratio.

The Proceedings of the Symposium and the Workshops will be published by the IEEE Computer Society Press. At least one full registration is required for publication of Symposium and Workshops Proceedings. It should be noted that any paper of Symposium and/or Workshop Proceedings will not be included in the IEEE-CS digital library if no presentation is made without reasonable notification. Accepted papers will be indexed through INSPEC and EI Index. There is a plan to invite several authors to provide revised papers for a special issue on Future Internet and Applications of IEEE-CS IT Professional.

Message to Industry

SAINT has been one of the major forums to discuss the state of the art Internet-related technologies for not only academia but also industry.

SAINT2010 is considering an opportunity where industry will be able to make an appeal of new technologies. Please keep a close watch on the SAINT web page.

Student Sessions

The Student Session will provide an international forum for graduate students to interact with faculty mentors and other researchers. It will strive to provide constructive guidance for completion of the proposed research and motivation for a research career.

情報処理学会 読者の皆様へ



情報処理学会 50周年記念企画 「画像で綴る IPSJ 全国大会 50年」へのご協力のお願い

～大切な1枚、思い出の1枚を会誌に掲載しませんか?～

会誌編集委員会

情報処理学会会誌編集委員会では、50周年記念企画の1つとして「画像で綴る IPSJ 全国大会 50年」と題する特集を掲載予定です。

本特集は、毎年開催される全国大会を対象に、招待講演や表彰式などその年の大会を特徴づける情景をご紹介します。一般講演者の講演、質疑の様子を写真と解説でお伝えしようという企画です。また発表内容だけでなく、発表方法（スライド、OHP、ノートパソコンなど）の変遷を通じて、情報処理学会の歴史も振り返る予定です。

会誌編集委員会では、本特集を「読者の皆様から広く写真をご投稿いただく読者参加型企画」として進めることになりました。情報処理学会全国大会にちなんだ写真ははじめ、大会や発表でご使用された資料など、皆様の「大切な1枚、思い出の1枚」を、ご投稿ください。採用させていただいた方には、薄謝として図書カードをお配りさせていただきます。

本特集は皆様の投稿で構成されます。ふるってのご投稿をお待ちしております。

<投稿いただきたい資料>

●情報処理学会全国大会に関連する写真

- ・大会の様や表彰式の写真全般。特に第1回全国大会などの古い写真の投稿をお待ちしております。
- ・投稿いただく写真には簡単なご説明を添付していただくと助かります。

●情報処理学会全国大会の発表で利用した資料など

- ・工夫を凝らした資料や、研究データを保持していた古いメディアなど、今では手に入らない資料をお待ちしております。

※投稿いただいた写真や資料は、2010年5月中旬以降に返却いたします。ただし、採用の可否および採用させていただいた写真や資料等の誌面利用に関する著作権（日本国著作権法第21条から第28条までに規定するすべての権利を含む）は情報処理学会に帰属いたしますことを事前にご了承ください。

<投稿方法と投稿期間>

メールもしくは郵送でお送りください。お送りいただく際には、以下の情報を併せて送付ください。

- ・投稿者様のお名前 ・ご住所 ・電話番号（携帯可） ・メールアドレス
- ・お送りいただく資料の撮影年月日 ・写真や資料に登場される方のお名前

※投稿は10月末日までにいただけますようお願いします。

<送付先>

メールによる送付先：photo50y@ipsj.or.jp

郵送による送付先（制作委託先）：〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町560 鈴木ビル202

合資会社エースラッシュ 情報処理学会 50周年企画号制作係

情報処理学会創立 50 周年記念会誌 特集「情報処理技術の未来地図」1 ページ論文募集

「情報処理技術の未来地図」編集委員会

来たる 2010 年、情報処理学会は創立 50 周年を迎えます。50 周年記念事業の一環として、会誌「情報処理」では 2010 年 5 月号を記念特集号とし、その企画の 1 つとして、情報処理技術の未来を予想する「Letters to the Future IPSJ Readers」（未来の「情報処理」読者への Letter）を査読付き 1 ページ論文（One Page Letter）として公募します。採録となった論文を、特集「情報処理技術の未来地図」にて 1 ページ論文として掲載するとともに、応募論文をもとに Preface として「情報処理技術の未来地図」を作成し、次の 50 周年へのメッセージとしてまとめます。

つきましては下記の要領で論文原稿（One Page Letter）を募集します。奮ってご応募ください。

原稿は「情報処理技術の未来地図」編集委員会および会誌編集委員会において、査読基準にしたがって査読の上、採否を決定させていただきます。なお、特に優れた原稿の採録者には、50 周年記念特集号（2010 年 5 月号）以降の会誌において、ご投稿いただいたテーマを掘り下げた解説記事（6 ページ程度）のご執筆を依頼する場合があります。

◇募集分野

- a. 情報処理の要素技術
ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーキング、OS、データベース、プログラミング、アルゴリズム、自然言語処理、画像処理、CAD、知識管理、その他
- b. 今後のものづくり産業と企業経営
 - b-1. 企業情報システム、基幹業務システム、その他
 - b-2. ものづくりと開発支援
組込みシステム、開発プロセス、生産管理、支援ツール、テスト・検証、プロジェクトマネジメント、ドキュメント管理、その他
 - b-3. 新しい産業の可能性
サービスサイエンス、新事業創造、エンタテインメント、ケータイ、ゲーム、車載、バイオ、ロボット、その他
- c. 地域・社会・生活
行政・自治体、医療、福祉、教育、地域活性化、地域コミュニティ、SNS、ブログ、ユビキタス、セキュリティ、インターネット、その他
- d. 環境・宇宙・資源
Green of/by IT、宇宙事業、エネルギー、災害対策、その他
- e. 人材育成・教育
情報処理教育、産学連携、知識継承、その他
- f. その他
コンピュータ将棋、音楽情報処理、法律・知財権、その他

◇募集原稿

執筆者は原則として本会会員に限ります（共同執筆の場合、本会会員が 1 名以上含まれていることとします）。ご投稿いただく記事は、日本語または英語での記載とし、1 記事につき刷上り 1 ページ（タイトル、図表込みで約 3000 字）とします。原稿は、以下の URL から提供するスタイルフォーマット（MS-Word 版）を参考に記載してください。

URL : <http://www.ipsj.or.jp/50anv/magazine/miraichizu.html>

記事は、上記募集分野の 1 つ以上にフォーカスし、以下の内容で構成されるものとします。

- ・タイトル
- ・対象分野の技術開発、研究、事業などの現状
- ・10 年後～ 50 年後の社会や市場の環境、技術変化の予測
- ・上記にともなう対象分野の今後予測
- ・望ましい変化に導くために必要なこと（技術革新、教育など）
- ・学会や産学連携のあるべき姿、果たすべき役割についてのご提言

なお、今回は通常本会の論文誌では採択されにくい、新規データに基づく未来予測、新規情報システムの構想案なども歓迎し、査読においては、提案内容の創造性、妥当性、納得性、有用性を重視することとします。なお、募集分野ごとの採録件数に偏りが生じないように、採録件数を調整することがあります。

◇原稿の提出

原稿は電子メールにて以下のアドレスまで投稿してください。

投稿宛先：50aniv_IPSJMaga@ipsj.or.jp

原稿は PDF ファイルに変換したものを送付してください（採録の際にテキストファイルを送付いただきます）。投稿の際には、原稿ファイルの添付とともに、以下の情報をメール本文中に明記してください。原稿には、著者名、謝辞は記載しないようにご注意願います。

- ・ 題名（日本語および英語）、著者名（日本語および英語）、著者所属、会員番号、著者連絡先（E-mail アドレスまたは電話番号）、あらまし（200 字程度）
- ・ 該当する募集分野（前記募集分野から選択）
 - 記事に最も関連する分野（1 つ） 例：a. データベース
 - 現状関連する分野（複数可） 例：b-1. 企業情報システム, b-1. 基幹情報システム
 - 今後関連が強まる分野（複数可） 例：c. 地域活性化, c. ユビキタス

投稿された原稿に関して、受信確認メールを差し上げます。もし、確認メールが投稿締切以降も来ない場合、下記問合せ先までその旨をご連絡ください。

◇主要日程

応募締切：2009 年 10 月 31 日（土）

採否通知：2009 年 11 月 30 日（月）

最終原稿提出：2009 年 12 月 14 日（月）

◇特集号記事構成と採録論文の扱い

特集では、採録原稿および会誌編集委員会からの依頼原稿、ならびに、これらの原稿に基づき今後の情報処理技術をロードマップ形式でまとめた記事を掲載します。採録原稿、依頼原稿に対しては、本会規定の謝礼をお支払いします。また、ご希望の執筆者には別刷を発行します（有料）。

なお、原稿に関する著作権および個人情報の扱いに関しては、本会機関誌原稿執筆に準ずるものとします。（<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html> をご参照ください）。

◇問合せ先

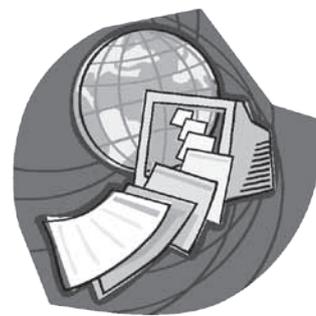
論文公募に関するお問合せは以下の E-mail アドレスまでお願いします。

「情報処理技術の未来地図」編集委員会事務局 50aniv_IPSJMaga@ipsj.or.jp

◇「情報処理技術の未来地図」編集委員会

委員長：松原 仁（はこだて未来大）

委員：位野木万里（東芝ソリューション）、白木善尚（東邦大）、
中川晋一（情報通信研究機構）、間瀬久雄（日立製作所）、
会誌編集委員



平成 21 年 4 月から研究報告の紙媒体での出版を廃止し、電子図書館の掲載のみとなっております。詳細は次をご参照ください。

■ 研究会活動のオンライン化と研究報告のオンライン出版（印刷物の廃止）について

http://www.ipsj.or.jp/03somu/kinen_jigyo/50anv/d-library/dl-sig.html

■ 電子図書館の利用方法

http://www.ipsj.or.jp/05system/digital_library/index.html

会誌「情報処理」51巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙，背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字，巻号，法定文字，記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・応募資格は問いません。
- ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって，学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第 27 条，第 28 条の権利を含む）は（社）情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について，第三者との間に紛争が生じた場合は，作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は，上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成 21 年 11 月 2 日（月）（必着）

結果通知 平成 21 年 12 月下旬

賞 金 採用者 1 名に 5 万円

送付先／照会先 （社）情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

創立 50 周年記念論文の公募について

記念論文選考委員会

1. 応募資格

情報処理学会の個人会員。共著の場合、著者のうち最低 1 名が個人会員であること。

2. 論文の性格と書き方

情報処理分野に関する邦文または英文の原著論文で、12 ページを目安とするが、最長 20 ページまで可とする。原稿の書き方は、「情報処理学会論文誌」執筆案内または Journal of Information Processing : Information for Authors による。

3. 公募締切

平成 22 年 2 月 1 日

4. 応募方法

論文は電子投稿により受け付けるので、下記の URL にアクセスし、電子投稿の要領に従って手続きを進めること。

<http://www.ipsj.or.jp/50anv/journal.html>

5. 応募論文の取扱い

- (1) 応募論文の選考は、記念論文選考委員会が行い、全体の 10% を限度として受賞論文の候補を決定する。原則として著者に照会することはしないが受賞決定後に執筆について助言することがある。
- (2) 選考結果は平成 22 年 8 月末日までに通知する。
- (3) 受賞しなかった論文は投稿時に著者が希望していれば希望の論文誌の一般論文として扱う。
- (4) 受賞論文は平成 22 年 11 月 18 日の「創立 50 周年記念式典」において公表し、受賞論文の表彰を行う。
- (5) 受賞論文のすべての著者に対して表彰状および記念品を授与し、受賞論文ごとに賞金を授与する。

6. その他

不明の事項については本学会事務局に問い合わせること。

照会先：研究部門 E-mail:editt@ipsj.or.jp



論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.50 No.10 (Oct. 2009)

【特集：情報教育～理論・評価・展望～】

■特集「情報教育～理論・評価・展望～」の編集にあたって

中森真理雄

■オブジェクト指向言語における変数とデータの関係を理解するためのワークベンチ

三浦元喜 他

■プログラミング学習カルテの分析による人的教育資源の有効活用

田口 浩 他

■学生が作成した問題の類似度算出手法の提案と評価

高木輝彦 他

■一斉講義式の座学の双方向性を目指した携帯型授業設計支援システム

藤田紀勝 他

■情報教育における理論と技術に関する研究の動向

山本三雄 他

【一般論文】

■シミュレーテッドアニーリングプログラミングにおける探索に有効な部分木とその活用方法—餌集め問題における検討—

三木光範 他

■Proposal and Quantitative Analysis of the CHStone Benchmark Program Suite for Practical C-Based High-Level Synthesis

Yuko Hara 他

■効率的なセキュリティ要求分析手法の提案

大久保隆夫 他

■ゴール指向要求分析を用いた self-adaptive システムの構築

中川博之 他

■複数のソフトウェアを横断した利用関係に基づくユーティリティクラスの自動検出[†]

市井 誠 他

■HGAF a power saving scheme for wireless sensor networks*

Tokuya Inagaki 他

■メディアストリーミングにおける高速移動通信網に適した動的符号化レート制御手法*

廣本正之 他

■プライベートアドレスによるネットワークモビリティを実現する Mobile NPC の提案

坂本順一 他

■ワイヤレスセンサネットワークの設計開発支援環境 D-sense*

森 駿介 他

■An Improved QIM-JPEG2000 Steganography and Its Evaluation by Steganalysis[†]

Takayuki Ishida 他

■日本語母語話者による英語発話認識のための言語モデル適応化

原田貴史 他

■場所ごとの重要行動の生起確率に基づく状況考慮型協力依頼手法

岡田昌也 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note

先日デジカメ写真のプリントをしに家電量販店へ行きました。自分で操作してその場でプリントするタイプの機械がお店入口に設置してあり、それを利用しました。約10年ぶりの母娘&叔母旅行の写真、プリントする画像と枚数を選んでいくとかなりの数になりました。合計金額が4,680円と表示され、お金を入れようと屈むと、お札は1,000円札のマークしかありません。しまった、5,000円札しか持ち合わせていない。すぐ近くにレジはないし人通りの多いところに機械は設置されています。しかしせっかく時間をかけて選んだのでリセットしたくないと思い、SDカードを差し込んで画像が表示されたまま、急いで店内奥のレジまで行き5,000円札を1,000円札に崩してもらいました。さて、気を取り直してお会計です。1,000円札を1枚ずつ入れていくと、4枚入れたところでそれ以上吸い込んでくれません。周りをキョロキョロしてみると「1,000円札は4枚までです」という表示が、コインを入れようとお財布を見ると、500円玉が1枚あるものの、残りは10円玉と1円玉だけです。仕方ないので、また先ほどのレジへ両替に行こうと思い、お金は入れっ放しにしたいので返却ボタンを押しました。すると、これまで入れた1,000円札4枚が1,000円札1枚と500円玉6枚になって返ってきてしまいました。あ、これでお金が崩れたぞ。今度は戻ってきた1,000円札と手元に残っていた1,000円札の計2枚を入れ、ジャラジャラ出てきた500円玉を始末しようとして1枚ずつ入れていきました。500円玉を3枚入れたとこ

ろでそれ以上吸い込んでくれません。今度はなんだと思ってキョロキョロすると「500円玉は3枚までです」との表示が、やっぱり両替かあ、やや嫌な予感がしつつも返却ボタンを押したら案の定1,000円札1枚と500円玉5枚が返ってきました。当初1枚しか持ち合わせてなかった500円玉が9枚が増えてズッシリです。

SDカードを差し込んだまま急いで店内奥のレジに行くと、先ほどと同じ店員さんに当たりました。「さっきのお札がこんなになりました」と500円をジャラジャラ差し出して、とりあえずそのうちの6枚を1,000円札に替えてもらいました。急いで機械に戻り、1,000円札4枚と500円玉2枚を入れてようやくお会計が終了し、プリントが始まりました。穏やかな休日の午後、明らかに表情と歩調の違う私が右往左往していた家電量販店にて、思い出のつまった写真が出来上がりました。

ISO 13407:1999 (標題: Human-centred design processes for interactive systems) に準拠した機械だと良いなと思いました。

(長澤有由子/規格部門)



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPJSJメールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください！

【11月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5010.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)

※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種： (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別： (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌およびWeb)に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2009年10月号)の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

特集：未来のコンピュータ好きを育てる

1. 情報科学教育の重要性と情報処理学会の活動 10-1-
2. コンピュータと教育研究会 100回開催記念パネル討論 10-2-
3. 国際大学対抗プログラミングコンテスト 10-3-
4. 情報オリンピック 10-4-
5. 中学校技術科における教養としての制御学習の展望 10-5-
6. コンピュータ科学を楽しく学ぶ 10-6-
7. プログラミングが好きになる言語環境 10-7-
8. 新学習指導要領とこれからの情報教育 10-8-
9. 全国アンケート調査で見る情報科教育の現状 10-9-
10. 高校での情報教育の現状と学会への期待 10-10-
11. 大学入試センター試験とプログラミング言語 10-11-
- 地域・個人適応サービスの実現を目指すユビキタスセンサネットワークプラットフォーム 第2部 10-12-
- "I" 見聞録：第75回 IETF (Internet Engineering Task Force) meeting 10-13-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

今回の特集では、小学生から高校生までの児童・生徒を対象とした「コンピュータを好きになってもらうための取り組み」を紹介した。

実際には、今回紹介した以外にも各種の取り組みが行われている。紙幅の関係で一部しか紹介できなかったのは残念である。詳しくは、会誌のバックナンバーなどをご覧ください。

本特集の背景には、世間で言われる「理数離れ」とともに、「コンピュータ離れ」の危機感がある。IT技術の普及につれて、コンピュータは単なる道具になり、それ自体が興味の対象になりにくい現実がある。コンピュータは「使って便利」「仕事でも活用する」。しかし、それに加えて「原理を知ることが楽しい」という側面も必要ではないか。

という側面も必要ではないか。

このような状況を概観し、未来への視点を得るために、本特集では、最初に本会の活動を紹介します。続いて世の中で行われている取り組みを紹介し、最後に学校教育で行われている内容を紹介します。

「未来のコンピュータ好きを育てる」ことは、本会の会員全員が取り組むことのできる活動である。本特集で紹介した内容を使って、ぜひお子様などの身近な子どもたちにコンピュータの楽しさを伝えていただきたい。楽しさを伝えられるのは、楽しさを実感している我々の特権なのです。

(兼宗 進/本特集エディタ)

次号 (11月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」ネットワーク仮想化技術と通信利用型放送

ネットワーク仮想化技術実証の場としての雪まつりストリーム実験の意義と技術的要点/仮想化ネットワーク/日韓 HD 生中継/ProRes422 HD 伝送システム/エアワンセグ実験/ネット対応エリア・ワンセグシステム

「特集」クラウドコンピューティング

クラウドの技術的特徴の総括/クラウドシステムの事例:Googleのクラウド技術/クラウドシステムの事例:AmazonEC2/クラウドシステムの事例:オープンソース・クローンの存在するクラウド技術/クラウドでのP2P/DHTの利用/クラウドとモバイル・デバイス/クラウドのデータモデルとトランザクションモデルの変化/クラウドのセキュリティ

連載

情報処理技術遺産

コラム

“I” 見聞録/欧州駐在員便り

ITの最新情報，研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入ろう!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 50巻10号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース…………… 表4 サイエンス社…………… 前付2,3
 オーム社…………… 表2対向 筑波大学…………… 前付最終上
 国立情報学研究所…………… 同封 北陸先端科学技術大学院大学…………… 同封

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel. (03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社 NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)



Fusic Co., Ltd.

(株) Fusic

INFOJAM

(株) インフォジャム

uejima

(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

コトバウチウチ

(株) ニューズウォッチ

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

楽R天

楽天 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375